

令和6年度関東東海北陸農業試験研究推進会議
野菜部会現地研究会開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会長
農研機構野菜花き研究部門 露地生産システム研究領域長
佐藤 文生

1. 趣 旨

我が国の農業総産出額に占める野菜園芸の割合 24%（令和3年）と、畜産に次いで重要な農業分野であり、その発展・成長には、地域の自然科学的・社会的・人文科学的条件を資源として活用した多様性に富んだ戦略が求められる。本年度の研究会では、みどりの食料システム戦略に対応した次世代園芸の展望と課題に焦点をあて、更なる生産性の向上と持続性の両立を可能とするスマート農業技術について、情報・認識の共有をさらに進め、各都県における研究開発・生産現場への普及拡大の一層の進展に資することを目指す。

2. 開催日時

令和6年11月12日（火） 13:00～16:30

3. 開催場所

埼玉県農業技術研究センター久喜試験場、イオン埼玉久喜農場および Zoom
埼玉県久喜市六万部 91 電話 0480-21-1113

4. 主催

関東東海北陸農業試験研究推進会議 野菜部会

5. 検討内容

- | | |
|--|-------------|
| (1) 開会
挨拶、見学方法の説明等 | 13:00～13:20 |
| (2) 現地視察 (60分)
ア イオン埼玉久喜農場見学
イ 久喜試験場実証ラボ見学
※参加者を2班に分け、2か所を交代で見学
(休憩 10分) | 13:20～14:20 |
| (3) 研究会 (60分)
みどりの食料システム戦略に対応した次世代園芸技術に関する話題提供
・施設園芸での生育・収量予測ツールの活用
伊藤 瑞穂 氏（農研機構野菜花き研究部門）
・施設トマトの増収技術（仮）
柴田 聖菜 氏（埼玉県農業技術研究センター） | 14:30～15:30 |
| (4) 総合討議 (55分、「技術的課題」に関する意見交換) | 15:30～16:25 |
| (5) 閉会 | 16:25～16:30 |

6. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県の行政・普及・試験研究機関、農林水産省（農産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、北陸農政局、東海農政局）、農研機構、その他部会長が認める者

7. 連絡先

農研機構 中日本農業研究センター 研究推進部 事業化推進室
事業化推進チーム長 千葉 雅大

E-mail : kth-yasaijimu@naro.affrc.go.jp

TEL : 029-838-7158

8. その他

開催案内、資料等は別途事務局より案内。

久喜駅⇄久喜試験場間はバス送迎。（迎えは12:30久喜駅発）

イオン農場の見学には1,000円／人が必要。